

2019年12月23日

報道関係各位

**株式会社トライアルカンパニー / フクシマガリレイ株式会社
【AI技術を活用したPMV制御による快適省エネ店舗の実現】が
2019年度省エネ大賞省エネ事例部門で経済産業大臣賞を受賞しました**

株式会社トライアルカンパニー（本社：福岡県福岡市、代表取締役：石橋亮太 以下、トライアル）とフクシマガリレイ株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役：福島裕 旧 福島工業(株) 以下、フクシマ）は、共同で店舗の快適性と省エネ推進という、相反する課題に挑戦し効果を上げた取り組みを評価され 2019 年度省エネ大賞省エネ事例部門 経済産業大臣賞（支援・サービス分野）を受賞しましたので、お知らせします。

本事例は、全国で 246 店のスーパー店舗を経営するトライアルが冷凍冷蔵空調メーカーフクシマと共同で店舗の快適性と省エネ推進という、相反する課題に挑戦し、効果を上げた取り組みです。

食料品を扱う店のエネルギー使用量は商品の性格上、店舗全体のエネルギーの 5 割以上を冷凍、冷蔵ショーケースが占めています。そのため生鮮食品、冷凍食品売り場においては買い物客より店内が寒いといった声が多くあります。店舗の快適性と省エネの課題について次の具体的な取り組みを実施したことで解決を図りました。

- ①空調吹き出し及びショーケース等配置の見直しとゾーン分け温湿度管理。
- ②冷凍ショーケースの気流最適化設計。
- ③快適性評価指標（PMV）による空調制御。
- ④冷凍冷蔵機器、エアコン、換気、デシカント等のトータルエネルギーの最小化を行う EMS の導入（AI 制御）。

これらの取り組みにより、同規模（3,000 m²）、同レイアウトの従来型他店舗に比べ、16.1%の省電力と 9%の電力デマンドの削減を達成しました。

なお、今回の受賞事例は、2020年1月29日（水）から1月31日（金）の3日間、「ENEX2020 第44回地球環境とエネルギーの調和展」会場内（会場：東京ビッグサイト）アワードコーナーに展示します。

【受賞内容】

●受賞部門：

2019年度 省エネ大賞 省エネ事例部門経済産業大臣賞（支援・サービス分野）

●受賞者：

株式会社トライアルカンパニー / フクシマガリレイ株式会社

●応募テーマ：

AI 技術を活用した PMV 制御による快適省エネ店舗の実現

<株式会社トライアルカンパニー 会社概要>

代表者：代表取締役 石橋 亮太

本社所在地：福岡県福岡市東区多の津 1-12-2 トライアルビル

設立：1981年7月

資本金：21億2335万300円

売上高：4,370億円（2019年3月期）

事業内容：小売、ソフトウェア開発、物流、商品開発・製造

URL：<https://www.trial-net.co.jp/>

<フクシマガリレイ株式会社 会社概要>

代表者：代表取締役社長 福島 裕

本社所在地：大阪府大阪市西淀川区竹島 2-6-18

設立：1951年12月

資本金：27億6千万円

売上高：連結 865億円（2019年3月）

事業内容：業務用冷凍冷蔵庫、冷凍冷蔵ショーケース、その他冷凍機応用機器の製造・販売・メンテナンス、店舗システム、厨房総合システムの設計・施工

URL：<https://www.galilei.co.jp/>

<関連情報>

・ECCJ 省エネルギーセンター 省エネ大賞

<https://www.eccj.or.jp/bigaward/item.html>

・ENEX2020 公式サイト

<https://www.low-cf.jp/east/>

以上

【発信元】フクシマガリレイ株式会社 担当：営業戦略部
〒555-0011 大阪市西淀川区竹島 2-6-18 Tel：06-6477-2011